

上田未来会議 #1【まとめ】

日 時 令和2年11月6日（金）19：00～21：00
 配信会場 まちなかキャンパスうえだ（Zoomによるオンライン配信）
 参加人数 15名（このほかスタッフ2名も参加）

【講演・オンラインワークショップ…120分】 講師：瀬下 翔太 氏 まちづくりの新しい方法（上田の未来を語り合う「ラジオ」をつくろう）

島根県津和野町で教育型下宿を運営し、編集者やディレクターとしても活躍されている瀬下翔太さん（NPO 法人 bootopia 代表理事）を講師に、コロナ禍という状況を踏まえる中、「ラジオ」という古くて新しいメディアを中心に、オンラインワークショップや情報発信の方法などを学び、「まちづくり」を参加者と対話形式で語り合う場を設定した。



＜講師（瀬下さん）の仕事内容等の紹介と質疑応答＞

①「教育型下宿」の実践例、②「メディアや編集・デザイン」事例、③「ネットラジオ」として別府の大学生との新しい番組の立ち上げなど、様々な仕事の内容を紹介いただき、会場に来た参加者に加え、オンライン上の質問に回答いただいた。

＜コロナ禍でのオンライン発信の事例紹介、会場参加者との対談＞

ラジオ媒体が再評価されつつあり、音声関連アプリが増えている現状を踏まえ、地域コミュニティの「人」の魅力を発信する有効なツールであることや、実際のチャンネルを紹介することで、様々な方法、発展の可能性があることなどを情報共有する機会となった。

また、会場に参加された高校生や大学生との対談では、「どのように集客すべきか」、「喋りすぎると凶々しく思われるか心配である」ことに対し、ラジオを活用した集客の方法や、言いたい時・発信したい時にはしっかり発言すべきであることなどのアドバイスがあった。

＜ワークショップ（ラジオの実践）内容等＞

実際に、瀬下さんがパーソナリティとなり、地域の「人」として信州大学繊維学部の秋津くんを紹介するラジオを実践した。インターンシップで関わりを持った会社との共同で「靴下」の商品化を実現した経験談の中で、「色んな人とコミュニケーションを取って商品化に漕ぎつけたことが良かった」などの意見を聞け、また、その対話をオンラインで見ている参加者からもタイムリーに質問を受けて応答するなどのやり取りが行われた。

総括（講師・ファシリテーターによる全体まとめ）

対話があって初めて分かることもあり、色んな相手と話せるメリットもあるため、「地域の魅力をラジオで発信する」方法について、実践して欲しい。